

令和2年度 学校自己評価表（結果）

学番8 県立新潟工業高等学校

学校運営計画					
学校運営方針		生徒が自己実現を図り、自らの進路設計を実現できるよう、全職員が協力し、教育目標の達成を目指す。			
昨年度の成果と課題		年度の重点目標		具体的目標	
成果 ・就職1次内定率92.0%，最終内定率100%、公務員16人、国公立大学進学者9人であった。 ・登下校時の自転車運転マナー等について、指導等を実施し概ね改善が図られた。 ・運動部・文化部ともに全国大会北信越大会等に多数出場した。 ・学校見学会に参加して満足と回答した中学生の割合が94%であった。 課題 ・コロナ禍の中多くの取組が中止、変更をすることとなった。今後は、新しい取組の形を模索していくこと。 ・新工未来プロジェクト並びにスーパードプロフェッショナル・ハイスクール（SPH）の成果を活かし継続発展させる。 ・安全、安心な学校作りを目指す。		・すべての生徒が希望する進路実現を果たせるよう、進学にも就職にも強い学校づくりを進める。		・基礎学力を付け、すべての生徒の進路実現を目指す。 ・進学では国公立大学への入学者の増加、就職では検定・資格取得等に力を入れる	
		・自律性と社会性を育み、豊かな心を育てるとともに、健全な身体の育成を図る。		・規範意識を高め、基本的生活習慣の確立を目指すとともに心を育む教育を実施する。 ・部活動を奨励し、部活動を通して豊かな心・強い心を育てる。	
		・本校の将来の在り方を見据え、地域社会に開かれた学校づくりを進める。		・地域社会と連携しながら、グローバルな視点と、科学的な思考力を備えた人材を育成する。	
重点目標	具体的目標	具体的対策			評価
あ. すべての生徒が希望する進路実現を果たせるよう、進学にも就職にも強い学校づくりを進める。	ア. 基礎学力の定着、向上	①授業第一主義の徹底による基礎力の定着			B
		②模試・検定等の活用、個別指導体制の充実			A
	イ. 進学では国公立大学への入学者の増加、就職では検定・資格取得の増加	③学校全体で組織的・計画的に行うキャリア教育の充			A
		④計画的な進学指導の実践			A
		⑤専門性を高めるための資格取得やコンテストへの参加指導			B
い. 自律性と社会性を育み、豊かな心を育てるとともに、健全な身体の育成を図る。	ウ. 規範意識を高め、基本的生活習慣の確立	⑥防災や安全、健康に対する意識の向上			B
		⑦基礎的生活習慣の確立、マナーやモラルの向上を目指す取組の充実			B
		⑧いじめや悩み解消のため、毎月の生徒対象アンケートを実施。全職員が情報を共有し面談等を実施することで、生徒が安心できる学校を目指す。			A
	エ. 部活動を奨励し、部活動を通じた豊かな心・強い心の育成	⑨高い意識を持った部活動の実践			A
		⑩規範意識を高めるための活動や文化的な活動機会の充実			B
う. 本校の将来の在り方を見据え、地域社会に開かれた学校づくりを進める。	オ. 地域産業界を支えるグローバルな人材育成	⑪グローバル化に向けた地域産業界・大学等との連携			B
		⑫教育活動を通じた、国際性を高める取組の推進			B
	カ. 科学的な思考力を備えた技術者の育成	⑬企業・研究機関・大学等との連携した共同研究			B
		⑭工業と共通教科等を関連させた教科指導の充実と各工業科が連携した事業を実施する。			A